



ユーザーガイド

# AWS re:Post Private



# AWS re:Post Private: ユーザーガイド

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

# Table of Contents

AWS re:Post Private とは .....	1
re:Post Private にアクセスする .....	1
料金 .....	1
招待を受ける .....	1
ブラウザ要件 .....	2
サインイン .....	3
プロフィールを完了する .....	4
プライベート re:Post 内で作業する .....	5
質問する .....	5
re:Post Agent から回答を取得する .....	6
回答を投稿する .....	7
選択を表示する .....	7
選択を公開する .....	8
記事を公開する .....	9
プライベート re:Post 内で検索する .....	10
ディスカッションを作成する .....	11
チャンネルを参照する .....	12
質問を サポート ケースに変換する .....	13
サインアウト .....	15
ドキュメント履歴 .....	16
.....	xvii

# AWS re:Post Private とは

AWS re:Post Private は、エンタープライズサポートプランまたはエンタープライズオンランプサポートプランを持つエンタープライズ AWS re:Post 向けの プライベートバージョンです。クラウドの導入を加速し、デベロッパーの生産性を向上させるための知識とエキスパートへのアクセスを提供します。組織固有のプライベート re:Post を使用すると、組織固有のデベロッパーコミュニティを構築して、大規模な効率を高め、貴重なナレッジリソースにアクセスできます。さらに、re:Post Private は信頼できる AWS 技術コンテンツを一元化し、チームが内部および AWS とコラボレーションして技術的な障害を取り除き、イノベーションを加速し、クラウド内でより効率的にスケールする方法を改善するプライベートディスカッションフォーラムを提供します。

詳細については、[「AWS re:Post Private」](#)を参照してください。

## re:Post Private にアクセスする

管理者以外のユーザーは re:Post Private アプリケーションを使用して、管理者が設定した認証情報を使用してサインインします。プライベート re:Post にサインインすると、目的のトピックを対象とするカスタマイズされたトレーニングや技術コンテンツなど、既存のコンテンツを参照または検索できます。また、AWS パブリックテクニカルコンテンツをプライベート re:Post から直接検索し、AWS パブリックコンテンツに関する内部ディスカッション用のプライベートスレッドを作成することもできます。質問したり、回答を提供したり、記事を公開したりすることで、AWS 技術的な問題を共同で解決し、プライベート re:Post の他のユーザーから技術ガイダンスを取得できます。ディスカッションスレッドを サポート ケースに変換することもできます。からのレスポンスをプライベート re:Post に追加 サポート できます。

## 料金

re:Post Private の料金階層については、[「料金表」](#)を参照してください。

## AWS re:Post Private に招待される

組織固有のプライベート re:Post に参加するには、招待されている必要があります。re:Post Private コンソールの管理者は、プライベート re:Post を作成し、自分と他のユーザーをプライベート re:Post に参加するように招待します。コンソール管理者から、ログインしてプライベート re:Post に登録するために必要な情報が記載された E メールが送信されます。

# ブラウザ要件

招待のカスタムサブドメインにサインインして、プライベート re:Post アプリケーションを開きます。サポートされている次のウェブブラウザの最新バージョン 3 つのいずれかを使用します。

- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge
- MacOS 版 Apple Safari

## プライベート re:Post にサインインする

プライベート re:Post に初めてサインインするには、re:Post Private コンソール管理者からの E メールを開きます。次に、E メールに記載されているリンクを選択して、プライベート re:Post にサインインします。re:Post Private にサインインするには、AWS IAM アイデンティティセンターまたは AWS Active Directory 認証情報を使用する必要があります。

ブラウザがシングルサインオンをサポートできるように、追加の手順が必要になる場合があります。詳細については、「AWS Directory Service 管理ガイド」の「[IE および Chrome のシングルサインオン](#)」と「[Firefox のシングルサインオン](#)」をご参照ください。

# プロフィールを完了する

プライベート re:Post に初めてサインインするときは、プロフィールを完了する必要があります。

プロフィールを完了するには、次の手順に従います。

1. 画面名 に、表示名を入力します。この名前はすべての投稿に表示されます。
2. 通知用の E メールには、E メールアドレスを入力します。
3. ( オプション) 名と姓に、名と姓を入力します。
4. インターフェイス言語と通知言語 で、言語を選択します。
5. コンテンツ言語 で、re:Post Private のコンテンツに追加の言語オプションを選択します。
6. プロファイルの完了 を選択します。

プロフィールを完了すると、検証 E メールが送信されます。この E メールでは、Eメールの検証を選択します。

プライベート re:Post で、サービス続行を選択してプライベート re:Post の使用を開始します。

## Note

プロフィールを更新するには、ユーザープロフィールを選択し、設定、必要に応じて更新、プロフィールの更新を選択します。

# プライベート re:Post 内で作業する

このセクションのトピックでは、プライベート re:Post を使用して既存のコンテンツを参照し、質問し、回答を投稿し、記事と選択を公開する方法について説明します。

## トピック

- [プライベート re:Post で質問する](#)
- [re:Post Agent から質問に対する回答を取得する](#)
- [プライベート re:Post の質問に回答を投稿する](#)
- [プライベート re:Post で選択内容を表示する](#)
- [プライベート re:Post で選択を公開する](#)
- [プライベート re:Post で記事を発行する](#)
- [プライベート re:Post 内で検索する](#)
- [チャンネル内のコンテンツを参照する](#)

## プライベート re:Post で質問する

探している情報がプライベート re:Post で見つからない場合は、質問をすることができます。

プライベート re:Post で質問をするには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、Post content を選択します。次に、質問を選択します。

-または-

プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、質問するを選択します。

2. 質問のガイドラインを確認し、質問するを選択します。

### Note

初めて質問を投稿する場合にのみ、ガイドラインを確認するように求められます。

3. 質問タイトルには、タイトルを入力します。
4. 質問の説明には、説明を入力します。できるだけ多くの情報を提供します。

5. チャンネルで、質問を投稿するチャンネルを選択します。特定のチャンネルを選択しない場合は、デフォルトを選択します。

このオプションは、プライベート re:Post 内のどのチャンネルにもユーザーがない場合は表示されません。

6. 組織固有のタグで、質問に適用するカスタムタグを選択します。

7. AWS タグでは、質問に適用されるタグを最大 5 つ選択します。

8. 質問の投稿を選択します。

プライベート re:Post の類似コンテンツのリストが表示され、問題の解決に役立ちます。このコンテンツのいずれかを表示するように選択できます。それでも質問を投稿する場合は、質問の投稿を選択します。

質問タブの下に質問が表示されます。

プライベート re:Post のユーザーは質問に答えることができます。質問に対するすべての回答が質問の下に表示されます。回答を受け入れるには、回答を受け入れるを選択します。

## re:Post Agent から質問に対する回答を取得する

プライベート re:Post の他のユーザーが質問に回答するのを待つと、re:Post エージェントは質問を確認し、回答を提供します。re:Post エージェントは AI を活用したペルソナであり、数秒以内に質問に対する最初の回答を提供します。

### Note

AWS 生成 AI 機能によって回答が生成されます。ただし、特定のコンテキストでレコメンデーションを評価し、適切な監視と保護を実装する責任があります。詳細については、[「AWS 責任 AI ポリシー」](#)を参照してください。

### Note

re:Post Agent は、次の条件下では回答を生成しない場合があります。

- お客様の質問は、セキュリティまたはコンプライアンスに関連しています。
- 質問がコミュニティガイドラインに準拠していません。

- re:Post エージェントには、質問に回答するための十分な情報がありません。

re:Post Agent が提供した回答が正確であれば、回答を受け入れるを選択できます。

re:Post Agent が生成した回答が質問の下に表示されます。

以下は、質問に対する re:Post エージェントレスポンスの例です。

#### Important

re:Post Agent は、アジアパシフィック (シンガポール) および欧州 (アイルランド) リージョンではまだ利用できません。

## プライベート re:Post の質問に回答を投稿する

AWS re:Post Private のプライベート re:Post に投稿された質問に回答できます。

プライベート re:Post の質問に回答を投稿するには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションのホームページで、質問を選択します。
2. 質問のリストから、回答を投稿する質問を選択します。
3. 「回答を追加する」に回答を入力します。
4. Post answer を選択します。

追加した回答が質問の下に表示されるようになりました。

## プライベート re:Post で選択内容を表示する

選択は、ユースケース、テクノロジードメイン、業界、または特定の問題領域に関連する学習パスまたは厳選されたコンテンツアセットのセットです。これは、AWS のサービス内の組織のクラウドユースケースに固有のナレッジアセットのコレクションであり、AWS re:Post、ナレッジセンター、AWS ブログ、AWS ドキュメントなどの AWS ソースからの高品質のコンテンツが含まれています。

プライベート re:Post で公開されているすべての選択を表示できます AWS。

プライベート re:Post で選択を表示するには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、選択タブを選択します。
2. 選択のリストから、表示する選択を選択します。

## プライベート re:Post で選択を公開する

プライベート re:Post で選択を公開するには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、Post content を選択します。次に、選択の作成を選択します。

-または-

プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、選択の作成を選択します。

2. 下書きの作成ページで、選択タイトルにタイトルを入力します。
3. 選択の説明には、説明を入力します。
4. 短い説明には、メタタイトルを入力します。

このフィールドには、検索エンジンの最適化を改善するための選択を簡単に説明するための単語をいくつか含めます。

5. チャンネルで、選択を公開するチャンネルを選択します。特定のチャンネルを選択しない場合は、デフォルトを選択します。

このオプションは、プライベート re:Post 内のどのチャンネルにもユーザーがない場合は表示されません。

6. 組織固有のタグで、選択に適用するカスタムタグを選択します。
7. AWS タグでは、選択に適用されるタグを最大 5 つ選択します。
8. タイトルイメージでは、選択内容を説明するカバーイメージをアップロードします。タイトルイメージの最大サイズ 2 MiB。サポートされているファイルタイプは、jpg、.peg、.png です。
9. コンテンツセクションのタイトルに、最初のセクションのタイトルを入力します。
- 10 説明に、セクションの説明を入力します。
- 11 選択に追加するリソースごとに、リンクの追加を選択します。
- 12 追加するリンクごとに次の手順を実行します。

リンクを追加するには、リソースのリンクを入力します。タイトルフィールドは自動的に入力されます。

(オプション) 説明 に短い説明を入力します。

(オプション) イメージを追加する で、リソースを記述するカバーイメージをアップロードします。カバーイメージの最大サイズは 2 MiB です。サポートされているファイルタイプは、.jpg、.peg、.png です。

- 13.(オプション) 本文を追加を選択して、セクションのテキストイメージとインラインイメージを含めます。
- 14別のセクションを追加するには、別のセクションを追加する を選択します。ステップ 7~11 を繰り返します。
- 15.ドラフトの作成を選択します。
- 16選択の下書きを編集するには、編集を選択します。
- 17[発行] を選択します。

選択は、選択タブの下に発行されます。

## プライベート re:Post で記事を発行する

プライベート re:Post に記事を公開するには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、Post content を選択します。次に、記事の発行を選択します。

-または-

プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、記事の発行を選択します。

2. 記事のタイトルには、タイトルを入力します。
3. コンテキストと目的には、簡単な説明を入力します。
4. 記事本文には、コンテンツを入力します。
5. Channel で、記事を公開するチャンネルを選択します。特定のチャンネルを選択しない場合は、デフォルト を選択します。

このオプションは、プライベート re:Post 内のどのチャンネルにもユーザーがない場合は表示されません。

6. 組織固有のタグで、記事に適用するカスタムタグを選択します。
7. AWS タグ では、記事に適用されるすべてのタグを選択します。
8. コンテンツレベルで、記事に適用されるコンテンツレベルを選択します。
9. 記事の発行 を選択します。

公開した記事が記事タブの下に表示されるようになりました。プライベート re:Post のユーザーは、記事を表示、賛成、反対することができます。また、この記事のコメントセクションに表示されるコメントを記事に追加することもできます。

## プライベート re:Post 内で検索する

Intelligent Search は、AWS re:Post コミュニティ、AWS ドキュメント、AWS ナレッジセンターの記事全体で関連する回答をすばやく見つけるのに役立つ自然言語検索機能です。この AI を活用したツールは、管理者が有効にすると re:Post プライベートスペースで使用できます。

クエリに最も関連性の高い結果を見つけるために、Intelligent Search は機械学習を使用して、コミュニティ Q & A、AWS 公式ガイダンス、組織によってキュレートされた内部記事など、複数のソースにわたる回答を検索します。インテリジェント検索では、AI が生成したトピックの簡単な概要と、各ソースへの参照も提供されます。

インテリジェント検索を使用するには、次の手順を実行します。

1. re:Post Private インスタンスを開きます。
2. ページの上部にある検索バーを選択します。
3. 質問は自然言語で入力します。たとえば、「How do I set up IAM Identity Center with Azure AD?」と入力します。
4. Enter キーを押すか、検索アイコンを選択します。
5. Intelligent Search は、関連するレスポンスをランク付けし、コンテンツタイプとソース (AWS、内部、またはコミュニティ) を示し、結果の重要なポイントを要約します。

### Note

インテリジェント検索が表示されない場合は、管理者が AI 機能を有効にしていない可能性があります。セットアップガイダンスについては、[「re:Post Private の AI 統合の設定」](#)を参照してください。

クエリが標準のキーワードベースの結果のみを返すようにインテリジェント検索をオフにするには、次の手順を実行します。

1. re:Post Private インスタンスを開きます。
2. re:Post Private インスタンスの右上隅にあるプロフィールアイコンを選択し、設定を選択します。
3. AI 設定セクションまでスクロールします。
4. オフ 検索結果で AI 生成レスポンスを有効にします。

インテリジェント検索を再度有効にするには、設定に戻ります。 と をオンにして、検索結果で AI 生成レスポンスを有効にします。

## プライベート re:Post でディスカッションを作成する

プライベート re:Post 内の AWS re:Post から任意の検索結果についてプライベートディスカッションを開始できます。質問、ナレッジセンターの記事、または AWS re:Post コンテンツタブの検索結果からの記事に関する説明を開始できます。

re AWS :Post からの検索結果に関するプライベートディスカッションを開始するには、次の手順に従います。

1. 検索結果ビューで、AWS re:Post 結果タブを選択します。
2. ディスカッションを作成する検索結果を選択します。
3. プライベート re:Post でディスカッションを開始するを選択します。
4. 質問する ページで、次の情報を入力します。

質問タイトルには、ディスカッションのタイトルを入力します。

質問の説明には、コンテンツへのリンクが既に含まれています。必要に応じて詳細情報を入力できます。

タグ では、ディスカッションに適用されるタグを最大 5 つ選択します。

### Note

組織がカスタムタグを許可している場合は、カスタムタグについて、ディスカッションに適用される組織のカスタムタグを選択します。

## 5. 質問の投稿を選択します。

ディスカッションは、質問タブのプライベート re:Post に追加されます。

## チャンネル内のコンテンツを参照する

コンソール管理者は、ターゲットを絞ったコンテンツ共有、組織の改善、プライバシーの強化、アクセス許可管理の簡素化のために、プライベート re:Post 内にチャンネルを作成することができます。チャンネルは、プライベート re:Post 内できめ細かなコンテンツアクセスコントロールを提供します。

### Note

次のいずれかの条件が当てはまる場合、プライベート re:Post 内でチャンネルを使用することはできません。

- プライベート re:Post にはチャンネルがありません。
- プライベート re:Post 内のどのチャンネルのユーザーでもありません。

プライベート re:Post のチャンネルを調べるには、次の手順に従います。

1. 追加したチャンネルを表示するには、プライベート re:Post アプリケーションのホームページですべてのチャンネルを選択します。
2. チャンネルを使用せずにプライベート re:Post に投稿されたコンテンツを表示するには、デフォルトを選択します。
3. チャンネルから排他的に投稿されたコンテンツを表示するには、リストからチャンネル名を選択します。

ユーザーである任意のチャンネルでコンテンツを投稿および表示できます。質問の投稿、記事の公開、チャンネルでの選択の作成を行うには、コンテンツを投稿するときに必ずチャンネル名を選択してください。

### Note

チャンネルのユーザーのみが、チャンネルに投稿したコンテンツを表示できます。

## 質問を サポート ケースに変換する

サポートリクエストの場合は、プライベート re:Post に投稿した質問 サポート から ケースを作成できます。

### Note

re:Post Private 管理者に連絡して、サポートリクエストのアクセス許可を取得します。

### Note

サポート ケースに変換した後で質問を編集することはできません。

質問からケースを作成できるのは、これらの条件の両方が当てはまる場合のみです。

- 少なくとも 12 時間前に質問を投稿しました。
- 質問に受け入れられた回答がありません。

プライベート re:Post の質問からサポートケースを作成するには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、質問タブを選択します。
2. サポートケースを作成する質問を選択します。
3. サポートケースの作成を選択します。
4. 警告メッセージを確認します。次に、次のいずれかのアクションを実行します。


ケースの作成を続行しない場合は、キャンセルを選択します。

ケースの作成を続行する場合は、確認を選択して残りのステップを完了します。

5. タイトル、概要、コメントと回答、タグとトピックの各フィールドには、質問からの情報が入力されます。これらのフィールドを編集したり、機密情報や個人情報を削除したりできます。
6. サポートケースの作成を選択します。

からのレスポンス サポート は、サポートケースタブの質問の下に表示されます。

7. からのレスポンスを受け取ったら サポート、AWS サポートへの返信セクションに返信を入力します。次に、AWS サポートへの返信の送信を選択します。

 Note

からのレスポンス サポート と返信は、ユーザーのみに表示されます。

8. 問題が解決された後にスレッドを閉じるには、スレッドの解決を選択します。
9. サポートチケットのコレスポンス発行に関する「Publish support response message」を確認してください。次に、発行せずに解決するか、解決して発行を選択します。

解決して公開することを選択した場合、ケースは解決され、サポートコレスポンスはスレッドに公開されます。

公開せずに解決することを選択した場合、ケースは解決され、サポートコレスポンスは公開されません。ただし、サポートコレスポンスを後で発行を選択して、スレッドでケースコミュニケーションを発行できます。

- 10がケースを サポート 解決し、サポートチケットのコレスポンスを発行する場合は、サポートケースタブでサポートコレスポンスを発行を選択します。

## AWS re:Post Private からサインアウトする

プライベート re:Post からいつでもサインアウトできます。サインインし直すには、IAM アイデンティティセンターの認証情報を使用します。

次のいずれかの方法で、プライベート re:Post からサインアウトできます。

- プライベート re:Post ウェブアプリケーションで、プロフィールを選択し、サインアウトを選択します。その後、プライベート re:Post からサインアウトします。
- IAM Identity Center コンソールからサインアウトします。サインアウトすると、re:Post Private セッションは、IAM Identity Center セッションの有効期限が切れてから最大 2 時間継続することがあります。この間も、プライベート re:Post アプリケーションにサインインします。セッションがタイムアウトすると、プライベート re:Post から自動的にサインアウトされます。詳細については、AWS IAM Identity Center ユーザーガイドの [「認証」](#) を参照してください。

## re:Post Private ユーザーガイドのドキュメント履歴

次の表に、AWS re:Post Private のドキュメントリリースを示します。

変更	説明	日付
<a href="#">更新</a>	既存のチャンネルを参照し、チャンネル内でコンテンツを発行する手順を追加しました。	2025 年 7 月 3 日
<a href="#">更新</a>	クエリでのインテリジェント検索の有効化と使用に関する情報を追加しました。	2025 年 6 月 24 日
<a href="#">更新</a>	ユーザーが投稿する質問について re:Post Agent から回答を取得する情報を追加しました	2024 年 10 月 22 日
<a href="#">ガイド構造の点検と改善</a>	ガイドの構造がレビューされ、特定のシナリオの情報をを見つけることに関連するカスタマーエクスペリエンスを向上させるための改善が行われました。	2024 年 9 月 24 日
<a href="#">初回リリース</a>	re:Post プライベートユーザーガイドの初回リリース	2023 年 11 月 26 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。